平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名　三洋化成工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　4471　URL　http://www.sanyo-chemical.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 安藤 孝夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合事務本部長　(氏名) 大西 亨　TEL 075-541-6153
四半期報告書提出予定日　平成23年11月10日　配当支払開始予定日　平成23年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	71,031	5.6	3,375	△35.2	4,191	△24.6	2,468	△23.1
23年3月期第2四半期	67,282	21.5	5,210	131.9	5,557	157.1	3,209	268.4

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　2,013百万円 (△16.1%)　23年3月期第2四半期　2,401百万円 (―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	22.38	―
23年3月期第2四半期	29.09	26.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	142,885	89,246	60.1
23年3月期	140,817	88,392	60.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　85,924百万円　23年3月期　85,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
24年3月期	―	7.50			
24年3月期(予想)			―	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	148,000	8.8	8,000	△16.8	9,600	△8.8	5,900	13.3	53.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	117,673,760 株	23年3月期	117,673,760 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	7,372,605 株	23年3月期	7,368,901 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	110,302,806 株	23年3月期2Q	110,322,069 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは、この四半期決算短信の開示時点において実施中であり終了しておりません。(なお、四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外です。)

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
４．補足情報 …… 13
四半期ごとの業績推移 …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（4月～9月）におけるわが国経済は、東日本大震災後の経済活動全般の急激な落ち込みからは回復しつつありますが、欧州の信用不安および米国での雇用悪化による景気の低迷に加え、金融引き締めにより中国の景気減速が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

化学業界におきましても、震災後の需要の落ち込みからは回復しつつある一方、円高の継続や、原燃料価格も前年同期を上回る水準で推移するなど、経営環境は厳しい状況にあります。

このような環境下における当社の当第２四半期連結累計期間の売上高は、販売数量の増加に加え、原燃料価格上昇に伴う製品価格改定により710億3千1百万円(前年同期比5.6％増)となりました。

利益面では、原燃料価格が前年同期を上回る水準で推移したことに加え、円高や昨年10月より稼働した衣浦工場の償却費負担もあり、営業利益は33億7千5百万円(前年同期比35.2％減)、経常利益は41億9千1百万円(前年同期比24.6％減)、純利益は24億6千8百万円(前年同期比23.1％減)と、前年同期比ではいずれも減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

＜生活・健康産業関連分野＞

生活産業関連分野は、洗剤用界面活性剤が液体洗剤の本格的な普及に加え、新製品の上市が奏功し、大幅に売り上げを伸ばしました。また、ポリエチレングリコールは、国内外での拡販が順調に進んだことに加え、一部東日本大震災の影響による応援（受託）生産を行ったこともあり、売上高が大幅に増加しました。

健康産業関連分野は、世界的な需要拡大が続いている紙おむつ用の高吸水性樹脂が、フル稼働状態を続けているため販売数量を伸ばすことができず、売り上げの伸びが微増に留まりました。この状況に対応すべく、本年6月、中国で年間生産能力7万トンの高吸水性樹脂生産設備を増設し、稼働を開始しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は256億2千7百万円（前年同期比6.2％増）となりましたが、営業利益は原燃料価格が高水準であったことに加え、円高の影響もあり16億7千7百万円（前年同期比30.4％減）となりました。

＜石油・輸送機産業関連分野＞

石油・輸送機産業関連分野は、潤滑油添加剤が海外向けを中心に省燃費対応エンジンオイル用潤滑油の需要拡大を受け、売り上げを大幅に伸ばしましたが、東日本大震災の影響により国内で自動車生産台数が減少し、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料、自動車内装表皮材用ウレタンビーズや自動車塗料用改質剤の需要が低迷したため、売上高が横ばいとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は154億5千7百万円（前年同期比1.4％増）となりましたが、営業利益は円高や衣浦工場の償却費負担もあり4千4百万円（前年同期比91.2％減）となりました。

＜プラスチック・繊維産業関連分野＞

プラスチック産業関連分野は、一部製品において東日本大震災の影響による応援（受託）生産を実施したことに加え、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤の売り上げが堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。

繊維産業関連分野は、自動車タイヤコード糸などの製造時に用いられる合成繊維製造用薬剤やガラス繊維用薬剤が海外を中心に、また炭素繊維用薬剤や合成皮革用ウレタン樹脂も国内外の需要の回復により、売上高が大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は96億9千9百万円（前年同期比7.6％増）、営業利益は12億8千5百万円（前年同期比21.4％増）となりました。

＜情報・電気電子産業関連分野＞

情報産業関連分野は、粉砕トナー用バインダー、重合トナー中間体用ポリエステルビーズとも需要は堅調に推移しましたが、生産拠点の鹿島工場(茨城県神栖市)が東日本大震災により被災したため、当第１四半期前半に十分な生産・出荷ができず、低調な売上高となりました。

電気電子産業関連分野は、アルミ電解コンデンサ用電解液やシリコンウエハ製造用薬剤の販売量を増やしましたが、ＦＰＤ（フラットパネルディスプレイ）用樹脂の需要が大幅に減少したため、売り上げを伸ばすことができませんでした。

以上の結果、当セグメントの売上高は108億5千7百万円（前年同期比2.6％減）、営業利益は4億5千6百万円（前年同期比59.4％減）となりました。

＜環境・住設産業関連分野他＞

環境関連分野は、カチオン系高分子凝集剤が東日本大震災による鹿島工場生産設備停止の影響により当第１四半期前半に十分な生産・出荷ができずに販売数量が減少し、低調な売上高となりました。

住設関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料が国内外で拡販が進んだことに加え、一部東日本大震災の影響による応援（受託）生産もあり、売り上げが大幅に伸びました。また、建築シーラント用原料やセメント用分散剤原料も拡販によりそれぞれ好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は93億8千9百万円（前年同期比21.4%増）となりましたが、営業損益は原燃料価格が高水準であったことに加え、衣浦工場の償却費負担などにより8千8百万円の損失（前年同期は1億1千3百万円の営業利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、株価下落による投資有価証券の減少はあったものの、売上債権ならびにたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて20億6千7百万円増加し1,428億8千5百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて8億5千4百万円増加し892億4千6百万円となりましたが、自己資本比率は前連結会計年度末から0.5ポイント低下し60.1％となりました。

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高と比較し30億6千4百万円減少（前年同期は14億8百万円の減少）し、当第２四半期連結会計期間末残高は89億7千9百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、36億9千6百万円（前年同期は36億9百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益42億4千6百万円、減価償却費43億8千3百万円、仕入債務の増加29億6百万円などによる資金の増加が、たな卸資産の増加25億4千6百万円、売上債権の増加25億1千1百万円、法人税等の支払17億7千6百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、54億2千9百万円（前年同期は34億1千万円の減少）となりました。これは、固定資産の取得に52億6千2百万円を支出したことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、11億9千9百万円（前年同期は14億5千3百万円の減少）となりました。これは短期借入金により10億3千2百万円資金が増加(純額)する一方、長期借入金の返済(純額)10億7千2百万円、配当金の支払い8億2千6百万円などにより資金が減少したことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計の連結売上高は、原燃料価格の上昇に伴う製品価格改定や東日本大震災に伴う応援（受託）生産もあり、当初想定を上回りました。

利益面では、原燃料価格が前年同期水準を上回って推移したことに加え、円高により減益となりました。

一方、原燃料価格が第２四半期後半以降低下傾向に転じたことに加え、自動車関連事業も回復することが見込まれることもあり、平成23年10月25日付けの「平成24年３月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて、次の通り通期業績予想を修正しております。

（通期）	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	140,000	8,600	9,600	5,900	53.49
今回修正予想（B）	148,000	8,000	9,600	5,900	53.49
増減額（B－A）	8,000	△600	0	0	－
増減率（%）	5.7	△7.0	0.0	0.0	－
前期実績	136,026	9,615	10,527	5,209	47.22

※業績予想は発表時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,044	8,992
受取手形及び売掛金	36,145	38,668
商品及び製品	7,550	9,458
半製品	3,718	4,040
仕掛品	559	383
原材料及び貯蔵品	3,167	3,650
繰延税金資産	1,386	1,375
その他	788	982
貸倒引当金	△30	△32
流動資産合計	65,329	67,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,498	15,903
機械装置及び運搬具（純額）	21,453	25,315
土地	8,524	8,513
建設仮勘定	5,662	1,381
その他（純額）	1,387	1,259
有形固定資産合計	51,525	52,373
無形固定資産		
ソフトウエア	561	625
その他	387	395
無形固定資産合計	948	1,021
投資その他の資産		
投資有価証券	21,629	20,591
長期貸付金	3	3
繰延税金資産	249	248
その他	1,176	1,174
貸倒引当金	△44	△45
投資その他の資産合計	23,014	21,971
固定資産合計	75,488	75,367
資産合計	140,817	142,885

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,289	25,194
短期借入金	3,318	4,335
1年内返済予定の長期借入金	3,164	3,273
未払費用	2,765	3,062
未払法人税等	1,592	1,080
賞与引当金	1,606	1,453
役員賞与引当金	88	40
設備関係支払手形	1,473	2,197
その他	3,990	2,716
流動負債合計	40,288	43,353
固定負債		
長期借入金	6,612	5,426
繰延税金負債	332	82
退職給付引当金	3,540	3,227
役員退職慰労引当金	745	587
その他	905	960
固定負債合計	12,136	10,284
負債合計	52,425	53,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,194	12,194
利益剰余金	62,571	64,213
自己株式	△5,694	△5,696
株主資本合計	82,122	83,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,136	4,149
為替換算調整勘定	△1,986	△1,987
その他の包括利益累計額合計	3,149	2,162
少数株主持分	3,119	3,322
純資産合計	88,392	89,246
負債純資産合計	140,817	142,885

(２) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日)
売上高	67,282	71,031
売上原価	52,922	58,343
売上総利益	14,359	12,688
販売費及び一般管理費	9,149	9,313
営業利益	5,210	3,375
営業外収益		
受取利息	23	31
受取配当金	154	210
持分法による投資利益	246	585
不動産賃貸料	177	169
その他	125	115
営業外収益合計	728	1,113
営業外費用		
支払利息	88	124
たな卸資産廃棄損	26	24
為替差損	197	91
その他	68	56
営業外費用合計	381	297
経常利益	5,557	4,191
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
固定資産売却益	178	0
貸倒引当金戻入額	0	－
受取保険金	－	58
補助金収入	－	157
特別利益合計	180	216
特別損失		
固定資産除却損	131	157
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10	－
投資有価証券評価損	2	2
貸倒引当金繰入額	0	1
その他	0	－
特別損失合計	146	161
税金等調整前四半期純利益	5,592	4,246
法人税等	1,887	1,279
少数株主損益調整前四半期純利益	3,704	2,967
少数株主利益	494	498
四半期純利益	3,209	2,468

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,704	2,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,080	△986
為替換算調整勘定	△221	33
その他の包括利益合計	△1,302	△953
四半期包括利益	2,401	2,013
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,945	1,481
少数株主に係る四半期包括利益	455	532

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,592	4,246
減価償却費	3,586	4,383
固定資産除却損	131	157
のれん償却額	85	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	2
賞与引当金の増減額（△は減少）	△156	△152
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△466	△312
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△229	△157
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△27	△48
受取利息及び受取配当金	△178	△242
支払利息	88	124
持分法による投資損益（△は益）	△246	△585
固定資産売却損益（△は益）	△178	△0
投資有価証券売却損益（△は益）	△1	△0
投資有価証券評価損益（△は益）	2	2
その他の営業外損益（△は益）	△36	△352
売上債権の増減額（△は増加）	△2,431	△2,511
たな卸資産の増減額（△は増加）	△558	△2,546
その他の資産の増減額（△は増加）	△400	△314
仕入債務の増減額（△は減少）	194	2,906
未払消費税等の増減額（△は減少）	61	△149
未収消費税等の増減額（△は増加）	△1	28
その他の負債の増減額（△は減少）	208	163
小計	5,051	4,640
利息及び配当金の受取額	349	611
利息の支払額	△89	△124
その他	140	346
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△1,842	△1,776
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,609	3,696

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△12
定期預金の払戻による収入	15	－
固定資産の取得による支出	△3,472	△5,262
固定資産の売却による収入	156	1
投資有価証券の取得による支出	△5	△23
投資有価証券の売却による収入	3	0
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△108	△132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,410	△5,429
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	160	1,032
長期借入れによる収入	－	608
長期借入金の返済による支出	△613	△1,680
自己株式の売却による収入	0	－
自己株式の取得による支出	△3	△2
配当金の支払額	△826	△826
少数株主への配当金の支払額	△170	△330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,453	△1,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	△154	△132
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,408	△3,064
現金及び現金同等物の期首残高	15,565	12,044
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,156	8,979

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康産業関連分野	石油・輸送機産業関連分野	プラスチック・繊維産業関連分野	情報・電気電子産業関連分野	環境・住設産業関連分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	24,139	15,245	9,015	11,149	7,732	67,282	―	67,282
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	11	―	84	96	△96	―
計	24,139	15,245	9,027	11,149	7,817	67,378	△96	67,282
セグメント利益	2,411	501	1,059	1,124	113	5,210	―	5,210

（注）セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康産業関連分野	石油・輸送機産業関連分野	プラスチック・繊維産業関連分野	情報・電気電子産業関連分野	環境・住設産業関連分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,627	15,457	9,699	10,857	9,389	71,031	―	71,031
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	16	―	93	110	△110	―
計	25,627	15,457	9,716	10,857	9,483	71,142	△110	71,031
セグメント利益又は損失(△)	1,677	44	1,285	456	△88	3,375	―	3,375

（注）セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

＜参考＞

【所在地別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）　（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	58,555	2,076	5,632	1,018	67,282	―	67,282
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,604	16	303	―	1,924	△1,924	―
計	60,160	2,093	5,935	1,018	69,207	△1,924	67,282
営業利益(又は営業損失)	4,646	△88	581	24	5,163	46	5,210

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）　（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	62,117	1,885	5,895	1,133	71,031	―	71,031
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,107	41	422	2	2,574	△2,574	―
計	64,224	1,927	6,317	1,136	73,606	△2,574	71,031
営業利益(又は営業損失)	2,711	△110	654	53	3,309	65	3,375

【海外売上高】

前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）　（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
Ⅰ 海外売上高	13,742	(7,252)	4,919	5,155	23,816
Ⅱ 連結売上高	―	―	―	―	67,282
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	20.4	(10.8)	7.3	7.7	35.4

当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）　（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
Ⅰ 海外売上高	15,517	(8,279)	4,450	5,419	25,387
Ⅱ 連結売上高	―	―	―	―	71,031
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	21.8	(11.7)	6.3	7.6	35.7

(注) １．海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
２．国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
３．本邦以外の区分に属する主な国または地域
(1) アジア　　　：韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他
(2) アメリカ　　：米国、メキシコ、ブラジル 他
(3) その他の地域：オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中近東 他

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

四半期ごとの業績推移

１．連結

前年度 (単位：百万円)

	第１四半期 (平成22年4月～6月)	第２四半期 (平成22年7月～9月)	第３四半期 (平成22年10月～12月)	第４四半期 (平成23年1月～3月)	累計 平成23年3月期
売上高	３３，８１７	３３，４６４	３４，８７５	３３，８６８	１３６，０２６
営業利益	２，６８８	２，５２２	２，５９３	１，８１１	９，６１５
経常利益	３，００４	２，５５３	２，９２４	２，０４５	１０，５２７
四半期(当期)純利益	１，７５９	１，４５０	１，５４９	４５０	５，２０９
四半期包括利益又は包括利益	１，２６２	１，１３８	２，５３１	１，８２３	６，７５７

当年度 (単位：百万円)

	第１四半期 (平成23年4月～6月)	第２四半期 (平成23年7月～9月)	伸び率 (%) 前年同期 (2Q) 比	 前四半期 (1Q) 比
売上高	３５，３７９	３５,６５１	６．５	０．８
営業利益	２，３３５	１，０３９	△５８．８	△５５．５
経常利益	２，８９０	１，３０１	△４９．０	△５５．０
四半期(当期)純利益	１，５０８	９６０	△３３．８	△３６．３
四半期包括利益又は包括利益	１，８４１	１７２	△８４．８	△９０．６

２．単体

前年度 (単位：百万円)

	第１四半期 (平成22年4月～6月)	第２四半期 (平成22年7月～9月)	第３四半期 (平成22年10月～12月)	第４四半期 (平成23年1月～3月)	累計 平成23年3月期
売上高	２３，３３８	２３，２００	２４，１４６	２２，９６５	９３，６５０
営業利益	１，５３４	１，１９０	１，０７７	３３７	４，１３９
経常利益	２，０６３	１，６８２	１，５５８	８９５	６，１９９
四半期(当期)純利益	１，４１７	１，２７９	１，０００	３７０	４，０６７

当年度 (単位：百万円)

	第１四半期 (平成23年4月～6月)	第２四半期 (平成23年7月～9月)	伸び率 (%) 前年同期 (2Q) 比	 前四半期 (1Q) 比
売上高	２４，８１１	２４,８５５	７．１	０．２
営業利益	９４０	２５５	△７８．６	△７２．８
経常利益	１，６５３	８４８	△４９．６	△４８．７
四半期(当期)純利益	１，０３７	７３６	△４２．５	△２９．０